

## COOメッセージ



対象疾患における  
医療水準の向上に貢献し、  
患者さんへの価値提供に  
注力します”

執行役 COO(最高事業責任者)  
ナチョ・アビア

### 2022年3月期業績の概要

2022年3月期は、オリンパスの歴史の中で最も成果を上げた年となりました。過去最高の売上高と営業利益を達成し、すべての事業で好調な業績となりました。世界的に不確実で困難な状況となっていますが、組織全体で俊敏性と柔軟性を持って対応している結果だと考えています。

内視鏡事業は、すべてのサブセグメントで2021年3月期を大幅に上回る非常に良い結果となりました。消化器内視鏡システム「EVIS X1」は欧州、日本およびアジアの一部地域で好調に推移し、米国でも2023年3月期中に発売したいと考えています。お客様の反応は非常に良好で、発売済み地域における消化器内視鏡売上のうち、EVIS X1の売上比率は20%超と想定通りに進んでおり、今後も売上比率の大幅な向上と販売地域でのさらなる拡販を期待しています。

治療機器事業においても力強い回復を見せ、大幅な成長を達成しました。売上の成長だけでなく、投資に優先順位をつけながらコストを抑制し、利益も向上しています。多くの新製品を発売し、その大半が自社開発した製品である一方、インオーガニックな成長も含んでおり、双方が非常にうまく機能して成長を実現しました。特に泌尿器科では、私たちが非常に強い競争力を持っていることが見て取れます。

また科学事業では、顧客志向のソリューションが増えたことで、売上高、営業利益ともに過去最高の業績を更新しました。このように、3事業すべてで成果を上げ、お客様から高い評価をいただきました。

### 長期的な成長ポテンシャルを構築

当社は過去2年間で、Arc Medical Design社、Veran Medical Technologies社、Quest Technologies社、Media-Tate社を買収しました。これらの買収は非常に戦略的であり、どの企業も、将来性のある優れた技術を有しています。今後、数年で業績面での貢献が現れると思いますが、それ以上に、これらの企業はそれぞれの分野において当社の既存技術に素晴らしい発展をもたらすものと考えています。

2023年3月期は、医療分野の新しい戦略的な方針のもとで事業を運営する最初の1年となります。全体的な方向性として、患者さんや医療従事者のために焦点を当てます。そして、私たちの技術によって、当社の力を最大限に発揮できる対象疾患において医療水準の向上を目指します。この医療分野の戦略的な方針は、2019年にお示した経営戦略の変更ではなく、私たちが重点的に投資する分野を明確にしたものです。私たちは内視鏡分野のリーダーシップを維持しながら、治療機器分野、特にこれまで投資を行ってきた消化器科(処置具)、泌尿器科、呼吸器科の分野で成長を続け、これまでの投資からリターンを得られると考えています。

10年から20年後の医療技術がどうなっているかも考える必要があります。私は外部環境の不確実性について述べました。そのような環境を乗り越えるために最善を尽くさなければいけません。私たちがあれば可能だと前向きに捉えています。臨床的に差別化された製品を提供できれば、医療従事者や医療機関、行政にも価値を提供でき、ステークホルダーとの良い関係が築けると考えています。